



思いやる 広がる世界

府立山城高校



005年に終えた校舎の大規模な改修でできた。

普通科と商業科を設置した（商業科は85年に募集停止）。2007年には、専門学科である文理総合科を設けた。国内外の大学や高等研究機関などと連携し、問題解決型の学習やプレゼンテーション能力の育成などに取り組む。00年までは定時制も併設していた。生徒数は1163人（14年5月1日現在）。



え 国際教育に力

**まな
ビバ!**
教育/2015

放課後、2年4組（普通科）を訪れた。どこにでもありそうな高校の教室だ。でも、何かがちょっと違う。すべての机といすの脚に、古びたニスボールがかぶせてあった。「引きずった時のギギギした音を減らすためです」。増田恒副校長（52）が

山城高校は、国際教育にも力を入れている。昨年10月、2005年から交流のあるドイツ西部のデュッセルドルフ郊外のギムナジウム・フィルダーベンデ校から生徒20人と教諭4人が訪れた。18日間滞在し、英語や体育、ホームルーム活動と一緒に取り組んだ。17歳の女子生

さん（17）だ。手話ができる2人の担当教師が配属されており、時には授業や学校行事での通訳やパソコンを使った連配で福本さんたちを支援する。他の教師たちも、口を大きく開いてゆつくり話しかける心かけをしている。福本さんは府立舞鶴高校（右京区）の中学部出身。高等学校への進学も考えたが「たくさんの方たちの中で刺激を受けなかった。満足している」と話す。

自転車の施錠率 府内で連覇

府内の高校生たちがのびやかな文化を参画！府内の高校生たちが自転車の施錠率を競う「鍵-1グランプリ」で2連覇を果たした。府警が2013年から開催。府警が駐輪場



（北区）

部員の発案で始まっは毎日、まず1時間で泳力を鍛える。その間を演舞の練習にあから半身を出して手まり、ジャンプした年の時、公演を見て部を決めたというキプテンの2年清久亮さん（17）は「チーム観客と一緒に笑顔になれるのが魅力」。順の阪本美幸教諭（48）「個人種目の競泳、とかく『自分が自か』になりがち。Wで連帯感には確実に養われている」。

玄関先広場 躍動ダンス

校舎の玄関先の広場に大きな鏡を立てて、激しいリズムに合わせて踊るのはダンス部員たちだ。広場は平安前期（9世紀初頭）に貴族の邸宅の門があった由緒ある場所。



70人の大所帯。昨年8月、横浜市であった日本高校ダンス部選手権で、男子部員6人が「スモールクラス」の部に出場しヒップホップダンスを披露。審査員特別賞に輝いた。副部長で2年為本広輝さん（17）は「初めての大舞台でいきなり賞を獲得して興奮しました」。普段は地域のお祭りやイベントなど年に10回ほどの出番がある。部長の2年植村優衣さん（17）は「お年寄りが手拍子してくるのうれしい」。

努力 射止めた4人の府代表

校舎脇に露天の練習場所がある。的場の距離は本来、28に必要だが26にしかない。屋根もない。雨の日は校舎の廊下にワラでできた的を置いてフォームの練習に励む。部員は1、2年あわせ



朝日新聞より

たかが山祭?されど山祭? ～一生に一度の3日間～

完全燃焼

山城祭

今年度の山城高校文化祭「山城祭」が9月2日～4日の3日間、山城高校で実施されました。1年生は小ステージパフォーマンス、2年生は中庭パフォーマンス、3年生は体育館演劇の演目をクラス対抗で発表しました。

3年演劇

- 2位 1組 Band Wagon
2組 ミスグと夜の王
3位 3組 真夏のサンタクロース
4組 COURAGE OF THE WIND
5組 パコと魔法の絵本
6組 カラフル
7組 miracle
8組 漸
優勝 9組 いなくなれ群青

大道具賞 2組 5組 照明賞 4組
音響賞 7組
看板部門 優勝 2組 2位 9組 3位 6組
デザイン賞 3組

平成27年度版
やましろ
スクールライフ
第1号

2年パフォーマンス

- 1組 チャーリーとチョコレート工場その後
優勝 2組 扉の先には
3組 Grease 39
4組 インサイドヘッド
2位 ～If your emotions disappear
5組 織姫と彦星
～The Milky Way～
6組 Enchanted
～夢の魔法にかけられて～
7組 Alice in Wonderland
A miracle once again
3位 8組 PANDORA～パンドラの箱～
9組 魔女と3つの鍵
10組 Toy Story
～episode of love～
横断幕部門 優勝 9組 2位 4組 3位 7組
インパクト賞 1組

1年パフォーマンス

- 優勝 1組 テルマエ・ロマエ
2組 お天気は、CMの後で。
3組 太郎と太郎の神隠し
4組 ディスニー・ワールド
5組 アンパンマン THE・FINAL
3位 6組 Among the CM
7組 コンビニ In the midnight
2位 8組 モタン風竹取物語
～童話を添えて～
9組 僕たちのキセキ
コスチューム賞 5組 舞台セット賞 8組
看板部門 優勝 8組 2位 3組 3位 1組



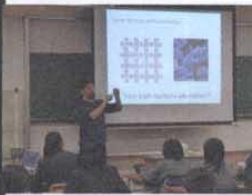
平成27年度版

やましろ スクール ライフ

第2号

サイエンス ダイアログ

日本で研究しておられる若手の外国人博士をお招きして「最先端の研究内容と母国の紹介」をテーマに英語で講義していただくハイレベルなプログラムです。文理総合科のほかスーパーアドバンスコースでも実施しています。



すべての学びが
リンクします

国際交流 ドイツ 中国 台湾



毎年様々な国と国際交流を行っています。特にドイツのフィルダーベンデン校は姉妹校として平成26年には約20名が18日間滞在して大いに交流を深めました。

スピーチ コンテスト

英語力向上をめざし、10月に校内英語スピーチコンテストが開かれ、上位入賞者は京都府大会にチャレンジします。



文理総合科 海外 研修旅行



グローバルな視野を身につけていきます。※平成28年度入学生からは研修先の変更を検討しています。



2年生文理総合科は6月マレーシア研修旅行に行きました。これまでの様々な学びや経験を統合し、異文化交流の実体験を通して



京都大学 医学部訪問



1年生文理総合科は1月に京都大学医学部附属病院を訪問し、臨床研修センター・薬剤部・癌治療部など特別に見学させていただきました。

マレー学習



2年生6月のマレーシア研修に向けて、現地の地理や歴史・習慣を学んだり、同時通訳者を招いて語学力を高めたり、海外留学生を招いてプレゼンテーションのリハーサルを行ったりと様々なプログラムが用意されています。

グローバル ネットワーク 京都



グローバルネットワーク京都事業では、2月に実施される論文、ポスター、プレゼン各部門のコンテストに向け、様々なリハーサルプログラムを実施しています。

AFS 留学生



ベルギーから来た留学生のヤニクくん。27年9月から1年間文理総合科で一緒に授業を受けます。



世界各国から留学生を受け入れています。

平成27年度版

やましろ
スクール
ライフ

第2号



職員室前風景



英語のペアワーク



化学の実験

学びの
風景

「ハイレベルな文武両道」を個々に実現するのが山城高校生です。それをサポートするのは先生たちの熱意と工夫を凝らした授業内容です。



土曜活用講座

国語の創作授業

生物の授業

岩田山実習
サル个体研究

2年生の生物選択者は嵐山モンキーパークでニホンザルの生態について実習します。グループに分かれてサルの個体追跡調査を行い、生理的特徴・生態的特徴について分析します。

家庭科の
様々な実習

家庭科では高齢者福祉施設訪問、魚の手開き調理教室、保育園児童観察実習、着物着付け教室、住宅展示場見学など年間を通して様々な実習を行います。

やましろ文箱

「やましろ文箱」とは、A4サイズのクリアポケットファイルに資料を時系列に従って入れていくポートフォリオ法です。教科ポートフォリオと進路ポートフォリオの2種類を持つことで、自分史を可視化しながら形成していくことができます。

やましろ手帖



本校では、「やましろ手帖」を全生徒が活用しています。今後の予定や宿題の内容などを書き込むことで自己管理能力を高めていきます。



手話弁論大会

聴覚障害生・手話部員・その他の生徒からも発表者を公募して、高校生として主張したいことを手話を交えて発表します。

論文講座と
論文コンテスト

1年生アドバンストコースの生徒を対象に立命館大学薄井教授をお迎えして小論文の書き方講座が実施されました。

この講座はグローバルネットワーク京都事業の論文コンテストへつながっていきます。



マニュアル文書の出来が良かった
文章が「下手だと人が死ぬ」

普通科
スキー
研修旅行

1年生普通科の生徒は1月末に3泊4日で長野県志賀高原へスキー研修旅行に出かけます。大自然の中でスキーはすぐに上達し、クラスの親睦もさらに深まります。



連歌の実作

中世の寄合の文芸である「連歌」について学習し、教養を深めます。11月には、嵐山「時雨殿」を舞台に、他の府立高校生ほか他府県からも参加者を得て、連歌の総まとめとして、連歌を実作し、各校の交流を図ります。



クラブ活動

- ① 平成27年度の活動実績
- ② クラブの現況
- ③ 目標とすること

弓道部

2年5組 森 心

- ①② 2年生22人、1年生8人で活動しており、みんなが緊張感・競争心を持って日々の練習に取り組んでいます。

今年度は全国高等学校総合体育大会弓道競技女子個人の部に坊知理先輩が出場されました。彼女は「今までの試合よりも射場での緊張感が大きく、特に射詰めの際が一番緊張した。」と話されました。

- ③ 次年度は、常に上を目指す努力を怠らないという目標を全員が持ち、今年度に負けないよう練習していけたらと思います。



弓道 近畿大会



弓道インターハイ

剣道部

田内 浩

- ① 京都総体 女子団体ベスト8（3年連続）
田予選 男子団体ベスト16 女子団体ベスト16
新人大会 男子団体ベスト16 女子団体ベスト16
- ② 1年男子3名 2年男子2名 女子3名 3年男子4名 女子3名

今年の4月に新入生を迎え入れ、チーム力が上がってきましたが、上位大会出場権をかけた試合で、あと一勝ができず結果が出ていません。現在部員数は少ないですが近畿大会、全国大会を目標に厳しい稽古を続けています。特に女子は3名であり、次年度の4月に新入生を迎えられれば、男女ともに十分に近畿大会出場を狙えるチームです。

また、剣道部OB会である「京三中・山城剣友会」の支援を受け、OB杯争奪戦、新春稽古会をはじめ、遠征や合宿を行っています。OBの皆様の期待に応えられるように頑張っています。

- ③ ベスト8（近畿大会出場）以上を目指しています。

硬式野球部

顧問 南條浩一／中村裕信／山本聡司

- ① 昨夏の選手権京都大会で峰山高に惜敗後、指導陣を一新して秋季大会に臨みましたが、京都すばる高などから3勝を挙げながらも上位二次戦に進出することができませんでした。
- ② 2年生19名 1年生11名 マネージャー1名 総勢31名
- ③ 限られたグラウンド使用や狭さなどの逆境の中、「文武両道」・「人格形成」をモットーに「爽やかな」「粘り強い」山城高校野球部を目指して頑張っていますので応援のほどよろしくお願いします。

サッカー部

顧問 山岡宏志／宮崎又嘉／古山三樹夫

- ① ・京都高校サッカー新人大会ベスト8
・全国高等学校総合体育大会京都府予選ベスト8
・全国高校サッカー選手権大会京都大会ベスト8
- ② ・1年生 39名 2年生 28名 3年生 35名
・マネージャー 5名（4月当初時点）
- ③ 先輩方の期待に応え、全国大会に出場できるよう、日々努力していきます。



全国高校サッカー選手権大会京都大会の前に撮影した集合写真です。

山 岳 部

顧問 田中 逸郎

- ① 4月 新歓ハイク「沢の池」 5月 3年追出し山行「マキノ」
6月 予備合宿「リトル比良」 8月 夏合宿「尾瀬」
9月 秋合宿「濁沢」 10月 近郊登山「金毘羅山」
11月 京都府高等学校登山選手権大会「棧敷・廃村八丁」6位入賞
11月 集中登山「六甲山」 12月 焼き芋キャンプ 3月 春山講習会「戸隠」
詳細はHPやマレコ山城高校山岳部をご覧ください
<http://www.yamareco.com/modules/yamareco/clubrecs-561-listview.html>
- ② 1年生：男3名 2年生：男3名、女2名 3年生：男5名、女1名
- ③ その季節ならではの良さを求めて山に通っています。山を好きになり、1人で山に行ける読図力・生活力を身に付け、山に行く意味を考える活動でありたいと思っています。

3年部員 T.H. 君の活動報告（3年追出し山行「マキノ」を終えて）

そう、マキノ高原は一年生の新歓ハイクで訪れたところで、バスが高原麓の施設に到着した時は、懐古の念で胸がいっぱいになった。思えば、二年前の自分と、今の自分の中身は、全く違っている。山岳部と出会って、更なる人間像の形成を促してくれた。もし山岳部に所属していなければ……いや、そんな話はしたくないし、してもしようがない。私は幸せなのだから。それだけで十分じゃないか。——今、こうしていろいろ考えて、いろいろ山のこと、その生活のこと、協力意識など、多岐に亘る大切な事柄たちを思っているのは、指南し、範を示してくださった、練達の師がいらっしゃるからだ。だが、それは当然こと。何より私の関心と、自由意思を打ち出してくださったことに、この上ない感謝の意を表したい。もちろん、協同してくれた仲間と、頼れる後輩、先輩にも。……仲間は好い。ただ朋友知己となることは、あるいは、緊張感を失い、山の魅力を見失いがちになるかもしれない。しかし、何よりかけて必要なのは、“山を楽しむ”ことだ。徒に一人で山へ行っても、ただ疲れるだけかもしれない。およそその疲憊は、懶いものだ。対蹠的に、仲間とともに行く登山のあとに得る疲労は、達成感という、美德をそなえた疲れである。翌日、その互いの努力の産物を、揚々と、笑い合えばよいではないか。

——山の楽しみ方を知る者は、人生の楽しみ方を知っている。

斯く、云っておられた。この箴言には、あらゆる意味が込められている。その意味を、私は天涯、問うであろうか。しかし、少なくとも今は、暗中摸索の状態。ただ、私の胸の裡に、自ら光輝するものがあることも、間違いのないことだ。

さて、私は八王子荘あたりでの散会の前、こんなことを述べた。「なんで山に登るのかな」と。あの発言に、少し付け加えをしたい。この問いの投げかけには、私

自身、真剣に向き合わなくて良いと思う。漠然と、ただ漠然とでいいのです。ふとした時に、脳裡に浮かぶように、頭の片隅に置いておけば。だって、登山をしている時は、それこそ仲間と歓談したり、疲れていたり、集中して下山していたりしているのです。考える暇なんてありません。だからこそ、ちょっと休憩をしたときなんか、ふと、空を見上げ、振り返り、山を見、木を見、信頼できる仲間の顔を眺めて、想ってほしいのです。その意味を。その時に、仲間から声を掛けられたら、大いに笑えばよいのです。その笑顔は、答えのない答えに、一步近づくものなのですから。山は一瞬一瞬、違う顔を見せます。そのことはつまり、自分の視座のありようで、世界は変わるのです。しかしその顔は、時に恐ろしいものでもある。おそらくみな、記憶にあるはず。御嶽山の噴火は、自然の猛猛さ——しかしこれが、自然の役目であり、ありのままの姿——その豹変を、私達に目の当たりにさせた。”自然は友達”だと私は思う。だからこそ、敬虔にかつ注意して、今後の活動は行って欲しい。登山の目的とは、そういう所にも存する。つまり、人間本来の姿に戻る事だ。或いは行き過ぎた現代を離れ、街にひしめく烏合の衆から脱し、自然に生きる一人の人間として、不便さを体験して、そうしてあらゆるものの大切さを学ぶ。「自分はなんて小さな存在なのだろう！」私は偉観、立山連峰の中に佇立し、そう叫びたくなった。小ささを自覚すれば、自己の謙譲を身に着け、同時におごることもなくなる。——実際、こんな人の内面にすごく肉薄して、その改革にまで至る部活動があるだろうか。人間的協調を見出し、年の関係なく肝胆相照らして伍し、将来への可能性へ投企する（道しるべとなる）。この、古典的だが、病魔のごとく跳梁跋扈し、猖獗する現代病に抗する最も良い手立てとなる部活を、個性豊かな、愛する後輩たちに、託す。

——（途中、省略）——

山の意義は、無限にあるし、深淵だ。でその淵源に、私は足を突っ込んだことになるのだが、私はそれに敢然と意を決し、もう一步、踏み出したいと、思えた。

ありがとうございました（礼）



夏合宿「尾瀬」燧ヶ岳山頂にて



秋合宿「濁沢」紅葉の濁沢カールにて

ソフトテニス部

顧問 西村 嘉人

- ① 5月：高校総体個人戦中ブロック予選・団体戦南部予選
6月：中ブロック大会
8月：夏季団体戦
9月：府選抜個人戦中ブロック予選
10月：府選抜団体戦南部予選
11月：府インドア大会中ブロック予選
- ② 現在通常の活動を2年生徒2名、1年生9名で行っています。
- ③ 中ブロック予選を勝ち抜いて府大会へ出場できるように励んでいきたいと思っています。

卓球部

顧問 都築 学

- ① 第69回近畿高等学校卓球選手権大会 男子団体戦 出場
第30回近畿高等学校新人卓球大会 男子団体戦 出場予定
第39回公立高等学校卓球大会 団体の部 男子 ベスト4
- ② 3年生 男子……6名 女子……1名
2年生 男子……3名
1年生 男子……5名 女子……1名
- ③ 2年キャプテン 嶋木祐介

ここ数年続けて出場していた近畿選手権大会や近畿新人大会への出場は果たしましたが、公立高校大会等では決して満足な結果は残せませんでした。

さらに練習の質を上げて、来年度以降も結果を残せるようにしていけたらと思います。



テニス部

顧問 山内正人、高橋るり子、筒井祐太、渡邊史佳、西村雅子

- ①・平成 27 年度全国高等学校総合体育大会テニス競技女子団体の部 ベスト 8
 - ・平成 27 年度京都府公立高等学校テニス選手権大会女子団体の部 優勝
 - ・平成 27 年度近畿高等学校テニス大会京都府予選
 - 男子シングルス ベスト 64 福島大和 (2 年)・岩田共輝 (1 年)
 - 女子シングルス ベスト 64 三宅真衣花 (2 年)・山本茉奈 (1 年)
 - 藤原優衣 (1 年)・八田悠里 (1 年)
 - 女子ダブルス ベスト 16 三宅 (2 年) 上茶谷 (2 年) ペア
 - ベスト 32 山本 (1 年) 藤原 (1 年) ペア
 - 高倉 (1 年) 井上 (1 年) ペア
 - ・平成 27 年度全国選抜高校テニス大会京都府大会 男子団体 ベスト 16
 - 女子団体 ベスト 8
 - ・平成 27 年度京都府高等学校テニス選手権大会
 - 男子シングルス ベスト 64 福島大和 (2 年)
 - 女子シングルス ベスト 32 山本茉奈 (1 年)
 - ベスト 64 三宅真衣花 (2 年) 修家未来 (2 年)
 - ・第 13 回近畿公立高等学校テニス選手権大会女子団体の部 出場決定
 - ・第 4 回近畿公立高等学校テニス選手権大会個人の部 出場決定
 - 福島大和 (2 年)・三宅真衣花 (2 年)・山本茉奈 (1 年)
- ②・男子：1 年生 26 名 2 年生 15 名 3 年生 17 名 計 58 名
 - 恒例行事：夏期合宿 (7 月)
- ・女子：1 年生 15 名 2 年生 9 名 3 年生 11 名 計 35 名
 - 恒例行事：夏期合宿 (8 月)
- ③ 男女とも、京都府下大会団体戦でベスト 4 に入ること、近畿地区大会に出場することを目指して、毎日練習しています。

京都府公立高等学校テニス選手権大会
女子団体の部 優勝



ダンス部

顧問 篠原智恵美／實本 裕子／安野留三子

- ① 京都市・乙訓地域公立高校フェスティバル（イオンモール京都桂川）地下鉄烏丸線延伸 25 周年記念祭（京都府立植物園）北区制 60 周年記念北区民ふれあい祭（京都市北文化会館）北区ゴミ減量作戦 ECO 祭（船岡山公園）京都府立聾学校と交流会（京都府立聾学校）高齢者福祉総合施設健光園を慰問クローバー甲子園（尼崎スポーツの森）京都ハンナリーズプロバスケットハーフタイムでのダンス演技披露（京都ハンナリーズアリーナ）第 61 回京都府学校ダンス発表会（文化パルク城陽）第 8 回日本高校ダンス部選手権冬季大会（大阪メイシアター）第 9 回日本高校ダンス部選手権新人戦西日本大会（大阪なみはやドーム）

- ② 1 年生 男子 2 名 女子 18 名
2 年生 男子 2 名 女子 20 名
3 年生 男子 2 名 女子 17 名 合計 61 名

- ② 次年度も一昨年、昨年度、今年度に引き続いて全国決勝大会や西日本大会で更なる上位入賞を目指し、ダンスを極めていきたいと考えています。地元北区や乙訓地域のイベントに積極的に参加させていただき、ダンスを通して見てくださる方々に笑顔と元気を届けられる活動を続けていきたいと思ひます。3 年生は、男女とも 1 年次には西日本大会に出場し「ベストスマイル賞」を受賞しました。男子は昨年の全国決勝大会のスマールクラスで「審査員特別賞」、女子は、今年の全国決勝大会のビッグクラスで「特別賞」を受賞しました。

2015 年第 8 回日本高校ダンス部選手権全国決勝大会ビッグクラス「特別賞」受賞
2、3 年生 女子（8 月 18 日（火）パシフィコ横浜国立大ホール）2015 年 8 月 19 日（水）
提供 産経新聞



2015 年 山城祭でのダンス発表を終えて 3 年生保護者・御家族の方々とのスナッ



2015 年 第8回日本高校ダンス部選手権全国決勝大会ビッグクラス
「特別賞」受賞 2,3年生 女子
(8月18日(火) パシフィコ横浜 国立大ホール)

軽音楽部

顧問 川勝ゆき子

- ① 文化祭ライブ、昼休み中庭ライブ
- ② 3学年合わせて80名以上が在籍しています。
- ③ 部員数が多くなり、バンドの数も多くなってきたので、発表の場を今まで以上にたくさん設けたいと思います。



今年度の中庭ライブ

美術部

顧問 神谷まり子／藤原 光／酒井泰子／脇田真由美

- ① ・校内文化祭において作品展示（コマ撮りアニメの上映、名作顔出し）し、皆さんに楽しんでいただきました。
・環境教育ポスターコンクール作品、油絵、本校ホームページのパナーなど様々な作品製作を行ってきました。
- ② 3年生3名・2年生1名・1年生8名でお互い刺激し合い活動しています。
- ③ 油絵制作を中心に、幅広い分野に挑戦し、作品の発表機会を増やしていきたいです。



水 泳 部

顧問 阪本 美幸

ウォーターボーイズキャプテン 清久 亮介

私はウォーターボーイズを通じて沢山のことを学びました。その中の一つが観客を第一に考え活動することの難しさまた素晴らしいことです。他の部活にはない考え方だと思います。どのように表現したら観客の方々を楽しく感じさせ、笑顔になってもらえるのかをチームのメンバーと協力して考えて練習してきました。自分達色の演技を0からひとつのものを作り上げていく喜び、そして観客の方の「楽しかった」や「感動した」などの声援をかけてもらえた時の達成感、素晴らしい経験ができました。このような経験ができたのも様々なサポートがあり、また代々山城高校で受け継がれてきた信頼関係があるからだと思います。先生方やOB、OGの方そして両親に感謝しています。本当にありがとうございます。これからは後輩達が何十年もウォーターボーイズを続けていってほしいです。



水泳部 全国インターハイに出場して

齋藤 あや

小さい頃から水泳を続けてきた私にとって、「全国大会」は、なかなか届かない夢の舞台でした。

中学時代、必死で頑張っても手が届かず、今年高校へ入学してからも、いつかはインターハイに出たい！と日々練習を重ねてきました。ギリギリまで出場できるとは思っていなかったのですが、出場が決まった時にはとにかくこれまでの努力を信じて精一杯泳ぎ切るしかない！と自分に言い聞かせて本番に挑みました。当日は水泳部の多くの先輩方や仲間の応援が更に私の大きなパワーとなり、終わってみれば自己ベストで泳ぎ切ることができました。今、私の力はまだまだ全国で戦うには力不足ですが今回の経験をバネにタイムを縮められるよう練習し、次は得意とする背泳ぎを活かして個人メドレーでも出場することを目指します。夢が夢で終わらないようにこれからも水泳部の仲間と共に目標に向かって悔いのない高校生活を送りたいと思っています。



ハンドボール部

顧問 園山 博

- ① 京都総体 vs 洛星 21-17 勝ち 以降雨天により中止
- IH 予選 vs 京都両洋 19-21 敗退
- 夏季大会 vs 京都八幡 15-11 勝ち
- vs 同志社 9-23 敗退
- 新人大会 予選リーグ vs 西乙訓 33-16
- vs 城南菱創 15-37 予選2位
- 決勝トーナメント vs 洛星 11-22 敗退
- ② 2年 12名 1年7名 マネージャー2名
- ③ ベスト8進出めざし、日々練習しています

バドミントン部

顧問 渡邊 一郎

平成27年度のバドミントン部は、4月当初の部員数は50名を超えました。練習コートが狭い中、工夫を重ねた練習をしています。そうした中、春のインターハイ予選も夏の新人大会も、市内のブロック予選を通過し、府下大会に進出することができました。

特に、今年は、夏に行われた、初心者大会において、全8ブロック中4ブロックにおいて、優勝を勝ち取るという快挙を成し遂げました。高校で初めて、バドミントンを始めた人の上達がはやく、経験者の人を追い抜かしそうな勢いです。そのおかげで、日々の練習に充実感をもって、部員全体が練習に取り組んでいます。



岡山県真庭市の白梅体育館における合宿風景（岡山県勝山高校との合同練習）

寄付者芳名

芳名の数字は卒業期です。
●京三中、○山城高。

39 押谷誠之助 37 岩佐義郎(内優) 34 東野裕 36 天沼昭 39 藤本一郎 37 松浦弘 35 松村篤之助 38 一海知義 38 小畑修一 33 吉川俊三 38 高野浩二 35 菰野美代子 39 山田耕二 36 浦川博正 36 篠崎徹 32 野々村晃 38 佐々木成夫 4 宮崎一雄 15 上原七子 38 大塚樹 5 小林愛子 34 西野孝一 12 田中英樹 4 吉田義男 38 渡邊稔 39 四方修 38 高橋淳 12 吉田茂 39 原田正男 15 津田雅也 35 萩野一彦 15 井内史雄 39 坂根寛 11 西村延子 39 山田安造 38 森重信 4 水川隆夫 38 岡田喜三 37 小川一雄 37 一色逸雄 12 百木義忠 38 山本晃 20 人羅賢司 16 木村孝博 36 曾根正常 15 守屋道治 15 高下みどり 31 岡田新 18 梅原健一 17 橋詰健治 39 野田昭洋 10 福田誠 14 二村昭雄 39 弓削治 5 木村英生 4 吉田和夫 16 豊永有光 4 今井正治 10 出納正彬 39 岡田益郎 14 高橋誠一郎 36 倉知三夫 7 鈴木和子 12 嘉住佳巳 39 上羽睦義 39 石田太造 7 松尾稔 20 伊藤重範 16 小林正隆 37 正楽井辰彰 13 磯部正 37 西村耕作 4 三中西久雄(以上平成26年3月10日〜31日)

服部富雄 15 堀勝 5 岩城陽子 36 天沼昭 36 高須壽一 11 寺田壽子 13 洞本昌男 34 東野裕 38 森重信 36 一谷彌 12 岩崎進 7 大谷房子 38 大町義治 18 稲本あや子 15 津田雅也 18 道井博夫 39 原田正男 39 廣野定幸 38 高野浩二 13 磯部正 1 小石原義二 38 橋本弘次 16 小林正隆 18 渡辺正志 38 猪野愈 37 美貴敏雄 39 上羽睦義 18 寺島竹夫 40 水川隆夫 39 藤本一郎 15 湖海信成 11 西村圭子 18 萩田光美 5 小林愛子 5 野村藤雄 18 田中春美 18 藤本穂 18 徳山敏博 38 佐山福繁 16 阪本悦子 15 林峯真佐 5 木村英生 14 都築鳩枝 14 川村紘 15 守屋道治 18 中尾四郎 12 北中昇 5 狐野美代子 29 武門喜子(頼彬) 18 山田恵子 5 渡辺昌子 36 篠崎徹 18 宇野富夫 18 河本充 18 杉本和子 35 萩野一彦 4 宮崎一雄 1 塚脇道成 15 松本正義 39 山田耕二 5 浦谷照雄 7 國枝治郎 37 西村耕作 19 栗本俊和 36 高橋玲爾 19 出納貴子 11 渡部隆夫 17 澤田安之 38 岡波泰造 11 西山剛史 10 岡部孝夫 36 倉知三夫 13 平井隆 18 青山直三 37 岡田新 18 井元徹 15 宮本照夫 15 芝原徹 4 芳井輝子 13 村端豊資 39 弓削治 10 福田誠 18 中村純三 37 上田喜三郎 18 宇田川隆 17 吉田喜代志 15 三橋秀樹 15 太田多美子 21 福田隆夫 15 岩田勲 18 橋本春子 19 船岡周 18 安達光男 12 堀井善之 18 柴田昌彦 18 森恵美 33 谷岡豊次 23 三宅光二 18 横田佳美 38 横田二郎 16 木村孝博 18 堀場厚 19 川本晴海 18 佐々田芳枝 15 加舎佳子 38 渡辺稔 19 石井佳代

子 19 藤根博子 31 平井邦男 18 佐藤嶺子 39 宮崎雍映 18 浜野高子 19 石田元一 37 富部修 20 松村多美男 18 福井和子 17 堀正和 19 中村美知子(以下19回) 栗津孝司・大前真理子・石川勉・海堀ケイ子・上野隆男・金本隆雄・佐藤哲史・松田光子・中塚富久子・南照三郎・山口義和・吉村信昭 5 西岡律子 31 佐藤隆 17 竹下賢 31 山内利夫 39 四方修 12 安原妙子 18 木村文子 35 大島達也 15 石田章子 15 門司信男 8 山本朔 15 林康文 15 上原七子 19 向山進 4 吉田義男 4 山4 花見の会 18 真枝康子 38 山村泰彦 15 高下みどり 12 吉田茂 6 藤田武司 15 井内史雄 31 中西雄太郎 12 井ノ口千里 5 大橋吉子 6 和田脩 19 岸啓子 60 高林千愛子 34 西野孝一 19 増見康子 15 守屋道治 19 瀬川司 18 松本文子 18 須田美智子 15 文字信男 19 谷利幸雄 38 高林藤樹 同窓会

計 報

芳名の数字は卒業期です。
●京三中、○山城高。
編集部受付分

37 植村隆雄 平成21年4月
37 中村勝美 平成24年7月23日
36 武内頼彬 平成26年10月24日
34 二本 茂 平成27年2月22日
7 松尾 稔 平成27年5月9日
38 一海知義 平成27年11月15日
18 宮澤裕子 平成28年1月6日(旧姓塩見)

強い同窓会をつくりましょう

編集部 高林 藤樹

柱が1本あるとします。目印にはなるかも知れませんが、それ以上の働きは殆ど期待出来ません。

それでは2本ではどうでしょうか。2本あれば、その間に幕を張って隔壁をつくる事が出来ます。幕は物を隔てたり、区別したりできるので、1本の柱にくらべてその働きは格段に飛躍します。しかし、2本の柱では幕や壁は倒れるという心配があります。

次に柱を3本にすると、ここではじめて安定という状態が生まれます。不安定や中立に比べて安定は完成を意味します。あの巨大なスカイツリーも三角形から出来ています。

さて、物事には3という発想が大きい力を発揮します。よく言われるのは、真善美の3つです。また、知徳体ともいわれます。組織にあつては3要素として名簿と会計報告と機関誌がこれにあたると

されます。今、我が同窓会は残念ながらこの3要素がすっかり機能していません。

昭和23年に学制改革が施行され、PTAという方法が輸入されました。PとTを両輪として学校を引っ張るというわけです。しかし、車は両輪があればうまく走るでしょうか。否、車軸があつてこそ成り立つのです。その車軸が同窓会ではないかというのが、私の言い分です。

師の恩は山よりも高いと言います。又親の恩は海よりも深いと言います。しかし、学校に於いては教職員や保護者が子どもに関わるのは何れも数年です。

これに対して先輩後輩の絆は永久です。遠い先輩が築かれた榮譽・名声を後代の我々は自分の誇りとし、又、鑑とします。そして消えることはありません。この縦のご縁を紡ぎ繋ぐのが同窓会ではないでしょうか。

各年度では同期の出会いをいつまでも暖かい友情の輪として残そうと、懇親を深めています。もう一歩進んで学年の壁を越えた出会いを太い絆として強く持ちたいものです。後輩が意気盛んに燃え

ているときは大いに祝福し、拍手してやりましょう。しかし、逆に力弱く消沈しているならば、元氣よく奮い立つように応援してやろうではありませんか。我々自身が親心・兄心をもっと持たねばなりません。

ではどうしたら？ それは一人一人が熱い母校愛を持つことです。具体的に言えば、母校に心を寄せるとは即ち機関誌を読むことです。機関誌を読むことで冷めかけた郷愁もまた燃えてきます。さらには是非投稿してください。書くことで記事は増え、ページは賑やかになり、コミュニケーションが出来上がります。

「応援団が勢いづけばチームも燃える」のではないのでしょうか。同窓会は母校の応援団です。声を大にして母校を応援しましょう。母校愛は膨らんでやがて祖国愛に繋がります。それから世界愛・人類愛となるでしょう。

編集部から差し上げるハガキに是非お返事を下さい。お待ち申しあげています。

編集後記

同窓会誌「双ヶ丘」第10号をお届けします。今回も多くの同窓生から、様々な原稿が寄せられました。昔年の学園生活が偲ばれるもの、卒業後半世紀以上を経ても健やかに親しく交流しておられるお仲間、楽しげな様子が目に浮かぶような旅行記など、編集・校正作業も楽しく進めることが出来ました。原稿をお寄せくださった皆さま、有り難うございました。また、山城高校の現況や、クラブ活動の実績などお知らせくださった、校長先生はじめ先生方、有り難うございました。

次号に向けて、若い人たちの投稿が増えるように願うとともに、編集部が主導しての座談会や、京三中・山城高の歴史を振り返る企画なども考えていると思っています。これからもよろしく願っています。

編集担当 中村哲也

同窓会紋章（裏表紙）の説明

この紋章は開校当初の旧五中そして京三中の精神と輝かしい伝統を現在の山城高校に引き継ぐ同窓生の希いと気持ちを表したものである。

桜の中の雄しべ・雌しべ・五角形が旧五中、桜全体が京三中、山形が山城高校、そして外の大いなる輪は同窓生の「和」を示している。

京三中・山城高同窓会会誌 双ヶ丘 第10号（非売品）

2016年2月29日発行

発行人 会長 森 貞男

編集長 5回 高林 藤樹

次長 18回 伊藤 禎彦

会計 26回 松村多美男

会計 26回 岡野 直臣

編集 28回 中村 哲也

